

公共劇場舞台技術者連絡会 平成30年度総会報告

開催日時：平成30年6月26日 10:00～12:00

場所：札幌文化芸術劇場 クリエイティブスタジオ（3階）

公共劇場舞台技術者連絡会（公技連）は舞台技術部門職員を有する全国の公立文化施設の劇場及びホールまたは施設を運営する法人で構成され、公立の劇場やホールの劇場技術者が連携し、各劇場間の諸問題の調査研究や情報交換・研修を通して、公演製作作業の安全基準及び運用管理基準の策定と普及を行い公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目的とする組織である。

公共劇場舞台技術者連絡会事務局より配布された「平成30年度総会」式次第に沿って、堀内会長（KAAT神奈川芸術劇場）の議事進行により、議案の説明および会員による採択が行われた。

詳細は次の通り。

開 会 会長挨拶：堀内真人会長
会場館代表あいさつ：伊藤久幸氏
各館の近況報告（20施設36名の出席）

議 案

- (1) 平成29年度事業報告および決算報告
- (2) 役員改選について
- (3) 弔慰基準について
- (4) 平成30年度事業計画案および予算案について
- (5) その他報告及び検討
今後の公技連の活動について
基準協ならびに文化芸術推進フォーラムについて
舞台技術者連合の動向報告
ホームページについて

【第1号議案】 平成29年度事業報告および決算報告
事務局より事業報告および決算報告の説明が行われた。議長は質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認された。

【第2号議案】 役員改選について
事務局案についての説明があり、議長は質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認され、以下のとおり承認された。

会 長 KAAT神奈川芸術劇場 堀内真人氏(再任)
副会長 兵庫県立芸術文化センター 関谷潔司氏(再任)
新国立劇場 櫻井拓朗氏(新任)
幹 事 新国立、兵庫、神奈川、さいたま、東京、まつもと、びわ湖、

監 事	北九州、新潟、いわき、世田谷（11館） 世田谷パブリックシアター 熊谷明人氏（再任）
顧 問	大和滋氏（公益社団法人 日本芸能実演団体協議会 参与） 眞野純氏（神奈川芸術劇場・神奈川県民ホール館長）
事務局	押谷征仁（びわ湖ホール）（再任） 白神 久吉（東京芸術劇場）（再任） 坂口 剛（まつもと市民芸術館）（再任） 山本 基之（水戸芸術館）（新任）

【第3号議案】

事務局より弔慰基準の説明が行われた。議長は質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認された。

【第4号議案】 平成30年度事業計画案および予算案について

1. 平成30年度事業計画(案)

事務局より平成30年度事業計画(案)について提案の後、質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認された。なお、定例連絡会と専門分科会は9月と2月を目処に事務局にて開催場所と開催日を検討することとなった。

2. 平成30年度予算(案)

事務局より予算(案)について提案後、議長は質疑と討議を促し、出席会員による拍手で承認された。

【第5号議案】 その他報告及び検討

1. 今後の公技連の活動について

- ・定例連絡会は年に2回、事務局が招集し開催されることとなる。
- ・専門分科会は、安全確保や個別の技術的な問題について開催する場とし、研鑽の機会を持つ場とする。
- ・舞台技術者の働き方改革（労務環境の改善）について
現状アンケートのデータをまとめた段階、今後専門分科会等にて意見交換を図りたい。
- ・安全衛生委員会「職場巡視」について
安全衛生委員会「職場巡視」についてのアンケートを実施する。

2. 基準協ならびに文化芸術推進フォーラムについて

「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」の改訂3版が発行された。各館にも配布済み。今後「舞台技術の共通基礎」の改訂作業に協力していきたい。また、文化芸術振興基本法が改正、新たに文化芸術基本法となり、その基本計画策定に関連して、ヒアリングを受けた。

文化芸術推進フォーラム提言取りまとめに当たり、施設維持や更新などについての意見を申し述べた。今後も、強く発言していきたい。

3. 舞台技術者連合について
添付資料を基に舞台技術者連合の動向について堀内会長より説明があった。
4. ホームページについて
ホームページにて活動の見える化を進めたい。
5. フィードバックシートについて
継続的に行いたい、遠慮して書いていない可能性あり。ホームページにて連携内容を調べられるようにもしたいという意見もあり。

以上5議案について提案した後、議長は質疑と討議を促し、出席会員による拍手で認められた。

